



準備パート

個人で事前に準備してもらう内容になります。

事前準備(参考)

①Unity Hubのインストール

- ・Unity Hubのインストールは次のページから行ってください。

<https://unity.com/download>

②Unity HubにUnityバージョンを加える【追記】

- ・Unityバージョン追加は以下を参考にしてみてください。

<https://create.unity3d.com/jp-howoto-update-win> <Windows>

<https://forpro.unity3d.jp/tutorial/unity-install-mac/> <Mac>

③事前配布されたスクリプトのダウンロード【追記】

- ・実習でUnity内にインポートするC#スクリプトです(3つ)

Unityのインストール: 概要

- **Unity Hub** を経由してインストールするのが現在の主流
 - Unity Hubは以下のページからダウンロード:
<https://unity3d.com/jp/get-unity/update>
- **Unity Hub**: Unity のバージョン管理ツール
 - 複数バージョンの Unity をここからインストールでき、必要に応じて使い分けられる

参考URL: 初めてUnityをインストールする手順について

<Windows編> <https://create.unity3d.com/jp-howto-install-win>

<MAC編> <https://create.unity3d.com/jp-howto-install-mac>

Unity ID とライセンス

Unity Hubを初めて起動すると
「有効なライセンスがありません」と言われる

有効なライセンスがありません

ライセンスを管理 閉じる

クリック

ライセンス管理画面に移動すると、
ログインが必要と言われる

⚠ ライセンスを管理するにはログインする必要があります。

ログイン 閉じる

クリック

Unity ID の取得・ログイン

Unity IDを持っていない場合、ここで新規作成



Unity Hub Sign In

unity

クリック

Unity IDでサインイン
Unity IDをお持ちでない場合、こちらでIDを作成してください。

メールアドレス

パスワード

パスワードを忘れましたか? ヘルプ


スキップ サインイン

または

Google Facebook Apple

Shield icon with checkmark

Unity ID の取得・ログイン



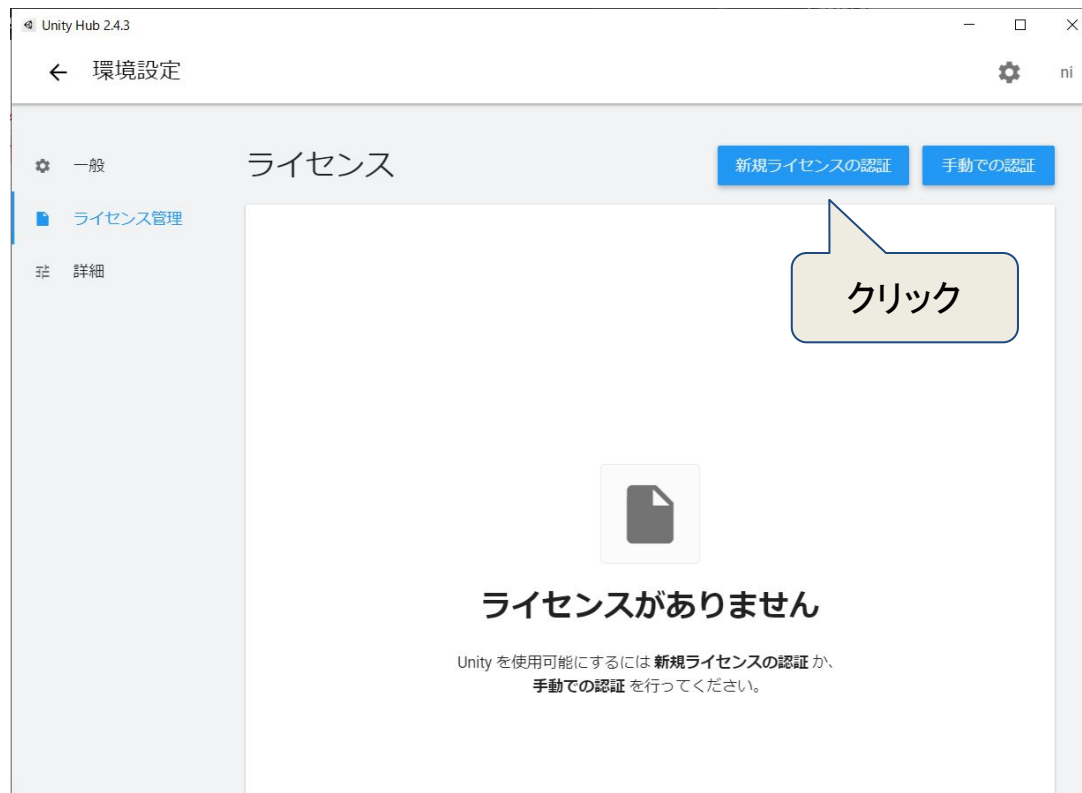
Unity IDは実際にUnityで何かしらの制作を行う際に再度使うことになるので、忘れないようにしておくが良いと思います。

- ・Asset Storeで使います

素材のダウンロード時にログインする必要がある。

ライセンスの取得

続いて、「新規ライセンスの認証」を行う



ライセンスの取得

今回は無料の「Personal」ライセンスを選択



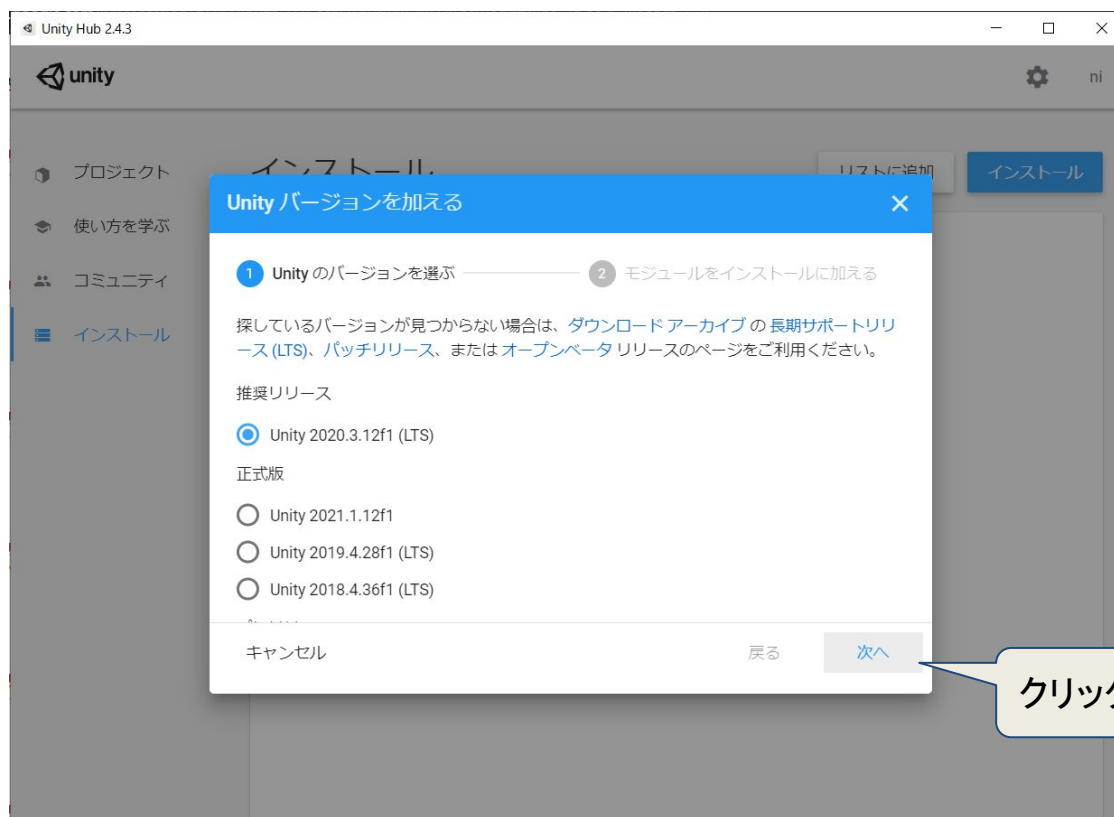
Unity のインストール

続いて推奨版のUnityをインストールする



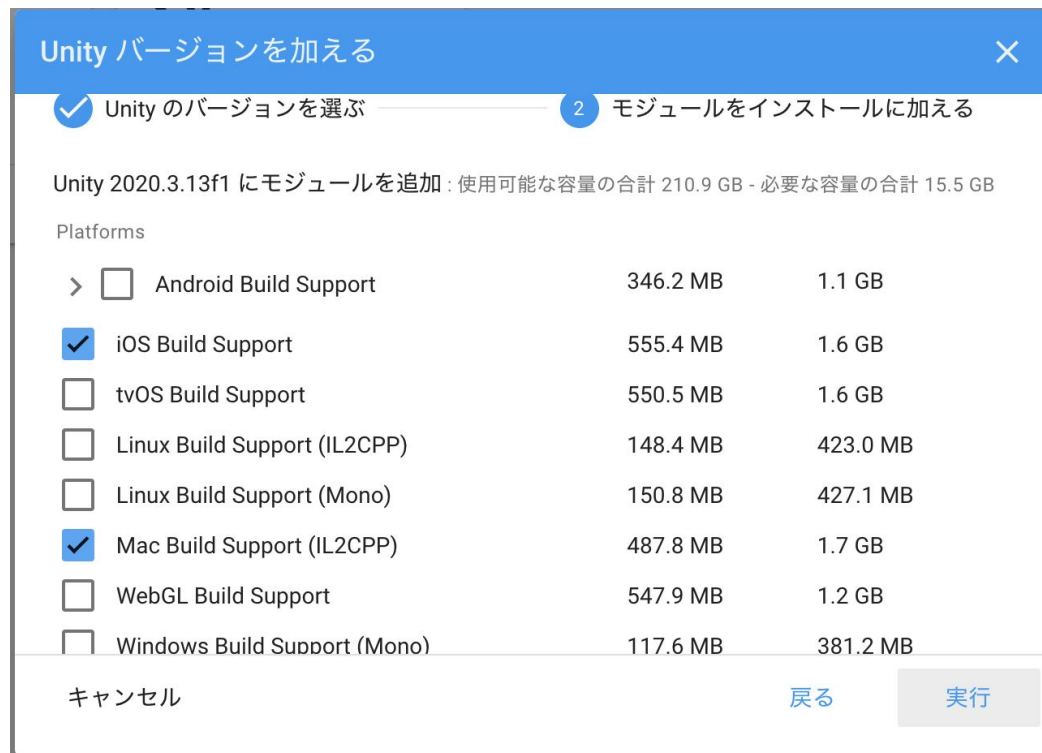
Unity のインストール

以降は画面の指示に従う



Unity のインストール

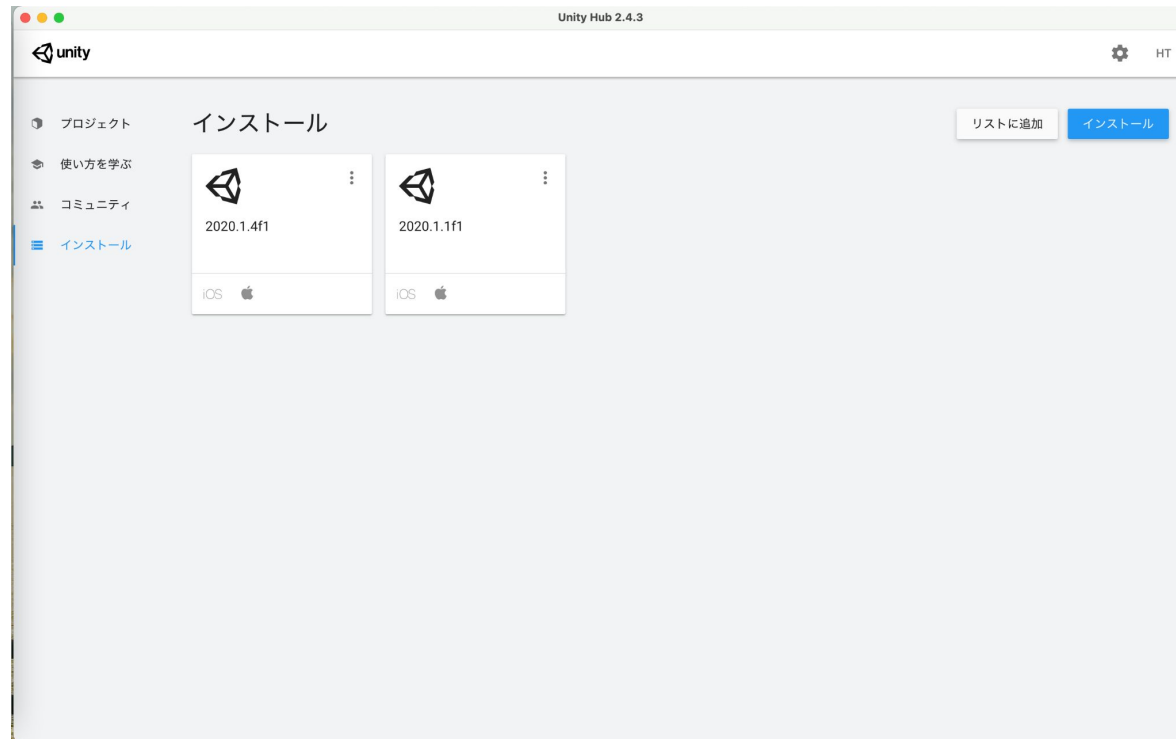
iphone実機でのテストを見据えている場合はiOSを
自分の環境にあったもののインストールを勧める



Unity のインストール

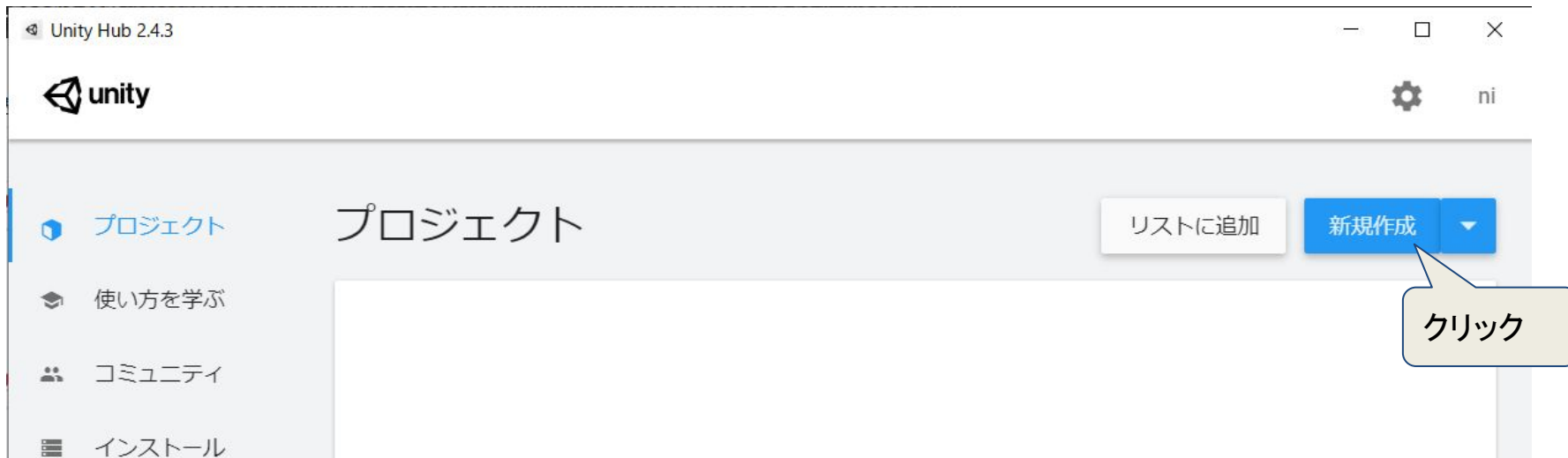
例えば昔2度にわたってモジュールのインストールを行っていた場合

- ・iOSとMacの二つのアイコンが見えます。



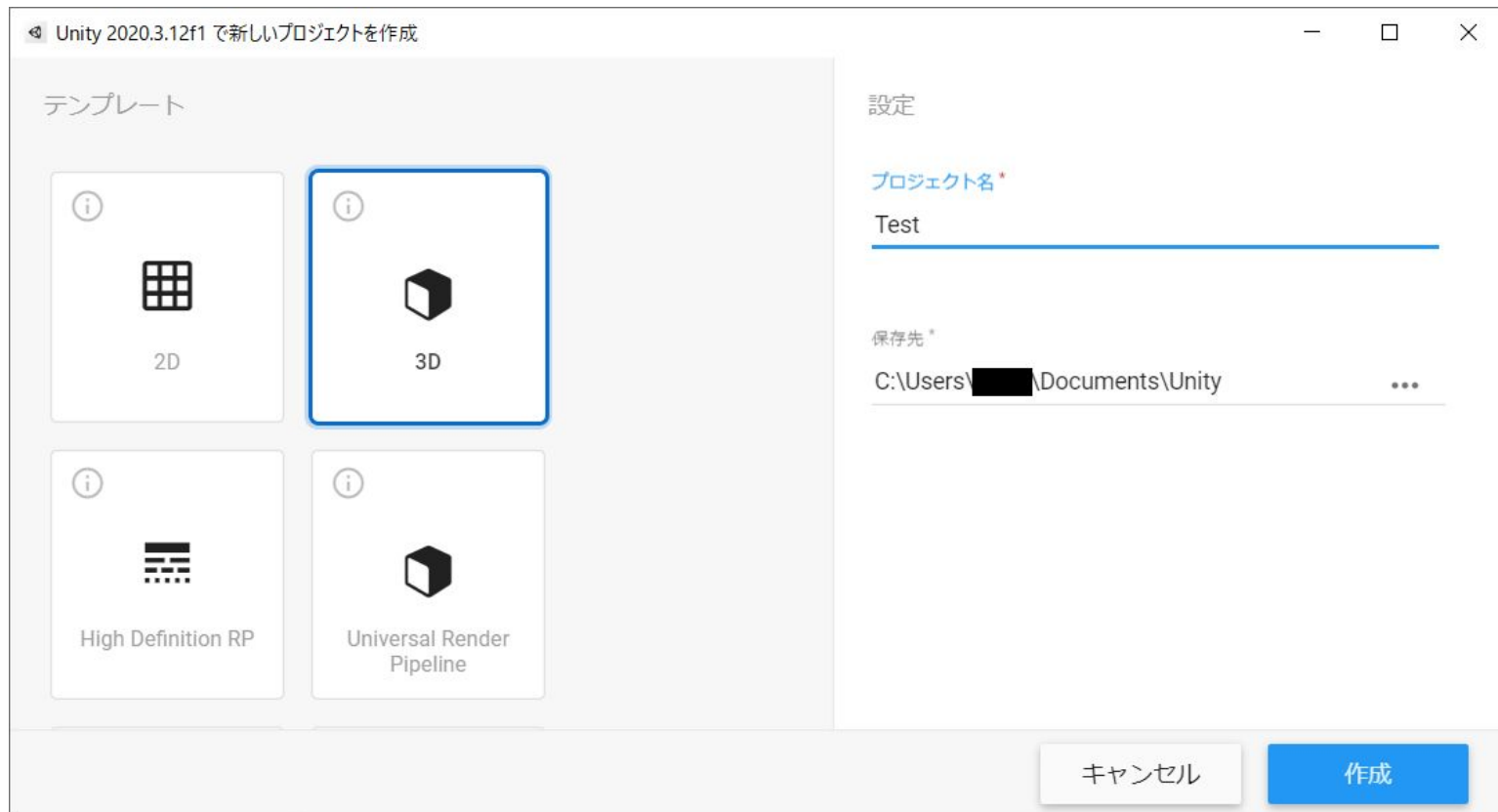
Unity プロジェクトの作成

- 続いて **プロジェクト** を作成する
 - プロジェクトは一つのゲームを表し、シーン・ソースコード・テクスチャなどゲームに必要な情報をまとめたもの



Unity プロジェクトの作成

今回は3Dゲームのプロジェクトを作成する



事前準備完了！



プロジェクトの生成まで終わってればこれで準備完了です！

- ・当日の実習パートはこれ以降の部分から始める予定です